



7月号 平成30年6月29日発行  
荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町6-9-4番地 [Tel 911-0149]  
アドレス [http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

ペイ・フォワード

校長 澤田 有子

「持ちつ持たれつ」「恩返し」といった言葉は、日常的に使っている言葉の一つであり、私たちが生活を営む上ではなじみのある考え方ですが、今から20年近く前に観たハーレイ・ジョエル・オスメント主演の映画『ペイ・フォワード』（邦題）で、“善意を他人へ回す”という意味をもつ「ペイ・フォワード」という言葉や考え方が英語圏の世界にはあるのだということを知り、大変心を動かされたことを今思い出しています。

この映画は、ラスベガスに住む中学一年生の少年トレバーが、社会科の最初の授業で担当の先生より「もし自分の手で世界を変えたいと思ったら何をしますか。」という課題を与えられ、“ペイ・フォワード”という考えを提案し、実際に行動を起こしていくという映画です。自分が受けた善意や思いやりをその相手に返すのではなく、別の3人に渡していきます。少年はいろいろと試みますがなかなかうまくいかず、結局この考えは失敗だったのではないかと思います。が、彼の気づかないところでバトンが次々に受け渡されていたというストーリーです。

「ペイ・フォワード」の言葉の意味は、直訳すると「先に払う」ですが、「ある人物から受けた親切を、また別の人物への新しい親切でつないでいくこと。多数の人物が親切の輪を広げていくための運動のこと。それを通して社会にプラスの連鎖が起きていくこと。」と辞書にはあります。

日本にはこのような考え方や言葉はないのでしょうか。井上ひさし氏は、江戸時代には「恩送り」が普通に行われており、親切にしてくれた当人へ親切を返そうにも適切な方法がない場合には第三者へと恩を送るという、各地の人社会が古くから持っている良識のひとつであったと述べています。

ボランティア活動もこのペイ・フォワードという考え方に通じる活動なのでしょう。もしかしたら、教えるという活動もそうかもしれません。

スクールゾーン防犯対策協議会は6月12日に終了し、改善要望に対して回答を得ておりますが、通学路の安全につきましてお気づきの点がありましたら、学校までご連絡いただけたらと思います。



校内田んぼの水持ち改良作業

土曜参観(6/16)後に昨年度作った校内田んぼの改良作業を行いました。水持ちがよくないため再度改良剤を混ぜ込んだ田に残土(元田んぼの土)を入れ、ならす作業を行いました。何十年、何百年稲作を行ってきたであろう元田んぼの保水力を改めて実感しています。

多くのお父様お母様方にお手伝いいただきましたことに、心より感謝いたします。小さな学校の大きな力、心強い限りです。